



Codebeamerと Windchill

成功へ導く
組み合わせ

テクノロジーが 急速に 進化する中

組織は高い精度とコンプライアンス標準を維持しながら革新的な製品をより迅速に市場に投入するという重圧に直面しています。これを実現するために多くのチームがアプリケーション ライフサイクル管理 (ALM) と製品ライフサイクル管理 (PLM) の戦略的統合に注目しています。このダイナミックな統合によってソフトウェア開発の強みと製品ライフサイクル全体にわたる可視性が組み合わせられ、製品開発に対する包括的アプローチが実現します。



Codebeamer の紹介

Codebeamer は、PTC が 2022 年に買収したアプリケーション ライフサイクル管理 (ALM) プラットフォームです。これは ALM の機能と製品ライン構成機能を拡張し、複雑なプロセスに対して独自の構成機能を適用できるソリューションです。システムエンジニアリング、ソフトウェア開発、品質保証、コンプライアンスに重点が置かれています。



Codebeamer には次のような特長があります。

- **要件管理**：要件管理におけるトレーサビリティと透明性、効率的なコラボレーションを求めるソフトウェアエンジニア向け。Codebeamer を使用するとソフトウェア エンジニアリング ライフサイクル全体にわたって要件、エピック、ユーザーストーリーを識別、管理、トラックできます。
- **アジャイル開発**：カンバンボードやバーンダウンチャートなどのツールでアジャイル手法をサポートします。
- **テスト管理**：テストケース、実行、結果を管理します。
- **リスク管理**：ソフトウェア開発プロセスの潜在的なリスクを予測して備えるのに役立ちます。
- **既成のカスタマイズ可能なテンプレート**：規制プロセスを簡略化できる既成のテンプレートを使用することで、より簡単にコンプライアンスを満たすことができます。
- **トレーサビリティ**：要件、コード、テストをリンクして、完全なトレーサビリティを実現します。

Windchill の紹介

Windchill は、PTC の包括的な製品ライフサイクル管理 (PLM) ソリューションです。最初の構想から生産終了まで、製品のライフサイクル全体を管理します。**Windchill** のオープンアーキテクチャは、他の企業システムと簡単に統合でき、製品主導のデジタルスレッドの強固な基盤を構築できます。



Windchill には次のような特長があります。

- 部品と部品表 (BOM) の管理：部品、アセンブリ、サブアセンブリなどの製品構造の作成と管理に役立ちます。
- 製品データ管理：CAD ファイル、仕様書、マニュアルなどのドキュメントを扱います。
- 変更管理：変更、承認、リビジョンをトラックします。
- コラボレーション：社内外を問わず、部門を越えて活動するチーム間のコラボレーションを促します。
- 変更管理とコンフィギュレーション管理：製品バリエーション間の一貫性を確保します。
- 品質管理：潜在的な製品の欠陥を予測、修正するのに役立ちます。

Codebeamer と Windchill を 併用する主な利点

1/4

包括的な 製品管理

Windchill のような PLM ツールは部品、モデル、ドキュメントを管理します。Codebeamer のような ALM ソリューションはソフトウェア開発、要件管理、導入プロセスを合理化します。この 2 つのシステムを統合すれば組織はエンジニアリングデジタルスレッド全体の可視性を向上させることができます。Codebeamer と Windchill を組み合わせることで製品ライフサイクル全体にわたってエンドツーエンドの可視性を実現できます。この可視性は初期設計から開発、テスト、導入、メンテナンスにまで及びます。



主な利点

2/4

シームレスなコラボレーション

Codebeamer はOSLC (Open Services for Lifecycle Collaboration) を使用して Windchill とシームレスに接続します。そのためエンジニアは Windchill コンポーネントと Codebeamer アイテムの間のリンクやトレースを容易に行えます。この統合により様々な開発チームどうしがコラボレーションできるようになり、イノベーションが促進され、製品の配置が迅速になります。自動車業界、医療技術、航空業界など、複雑かつセーフティクリティカルな製品を扱う製造メーカーは、このシームレスなコラボレーションから大きな利点を得ることができます。



主な利点

3/4

トレーサビリティの向上

Codebeamer と Windchill を組み合わせることで、エンドツーエンドのトレーサビリティを実現でき、一方のシステムで行われた変更がもう一方のシステムに確実に反映されるようになります。組織は変化する要件を効果的に取り込み、管理できます。PLM の部品を要件やテストなどの ALM アイテムにリンクする場合も、この統合によって情報のスムーズな流れが保証されます。



主な利点

4/4

効率の 向上

自動車、医療技術、航空業界は絶えず進化しています。PLM と ALM を組み合わせて活用することで変化するニーズに迅速に対応できるようになります。製品の進化にともない要件も変化することがあります。統合システムを使用すれば、チームは迅速かつ効率的に変化に適応できます。ソフトウェア開発チームが使用するアジャイル手法は、ハードウェアに重点を置く PLM プロセスとシームレスに接続できます。



まとめ

ALM と PLM の機能を組み合わせることで、ソフトウェアからハードウェアへのギャップを埋め、デジタルスレッドのパワーを活用して、より迅速かつ効率的に製品を作成できます。

Codebeamer と Windchill を組み合わせれば、組織は製品ライフサイクル全体にわたってエンドツーエンドのトレーサビリティ、可視性、制御を実現できます。この統合によって効率的なコラボレーションが促進され、変更管理プロセスが合理化され、コンプライアンス管理作業が強化されます。



**製品ライフサイクル全体にわたって
エンドツーエンドのトレーサビリ
ティ、可視性、制御を実現できる、
Codebeamer と Windchill の統合
に関して詳細をご確認ください。**

成功へ導くこの組み合わせによって製品開発プロセスが合理化され、コラボレーションが強化される仕組みを詳しくご説明します。ぜひお問い合わせください。

お問い合わせ